きりすとこどもえん　９月園だより

２０２０年度　年主題〈ことばが満たされる〉

0･1･2歳児９月主題「あそぼう」

月のねがい

◎保育者の祈りや賛美を通し神様を感じる
◎色々な事に興味関心を持ち試そうとする
◎保育者や友だちと、応答しあう楽しさを知る
◎安心できる環境で遊ぶ楽しさを知る

3･4･5歳児９月主題　「友だちとともに」

月のねがい

◎神様が下さった平和を考え、共に祈る
◎友だちと一緒に遊び、楽しさや難しさを経験する
◎夏の経験が喜びとなり、友だちに伝えたり、イメージを共有しながら共に遊ぶ事を喜ぶ
◎うつろいゆく自然の変化に興味を持ち、その中で心を動かして過ごす

今月の聖句　「私の目にはあなたは高価で尊い。」

イザヤ 43:4

私たちが生きている世界には、様々な愛があります。一つは「もしもの愛」です。条件付きの愛だと言い換えることも出来ます。理想の結婚相手は3K（高学歴・高収入・高身長）だと言われたものですが、今では4T（低姿勢・低リスク・低燃費・低依存）だそうです。二つ目は「だからの愛」です。これは、理詰めの愛、相手を利用する愛です。親が自分の夢を子に背負わせたり、将来のための保険のように育てる、といったことです。三つ目は「にもかかわらずの愛」です。本当はこうしたい、ああしたい、しかし、そういう自分の思いよりも相手の思いを尊重して行動するのがこの愛です。この愛はこの世に存在する愛の中で、最も優れた理想的なものだと言えるでしょう。

けれども、神さまの愛はその三つを凌駕します。なぜならば、神さまの愛は「そのままに愛する」愛だからです。「**わたしの目には、あなたは高価で尊い**」という聖書の御言葉は、私たちのことを「そのままに愛する」神さまの約束の言葉であり、恵みと祝福に満ちた言葉です。人の目にどう映ろうと、神さまの目には違って見えている、それが私たち一人一人なのです。この約束の御言葉を硬く心に抱き、揺れ動くこの世の価値観に左右されない人は、どれほど強く、豊かで、幸いなことでしょうか。

西之表基督教会協力牧師　池田基宣

利用料見直しのお知らせ

現在の利用料額は，H30.1~12 期の所得額によって算定されております。H31.1~R2.12 期の市民税額における階層の変動に伴い，市による利用料の見直しが行われます。

９月分より保育料が変更になる世帯もありますので、市より送付の利用料決定通知書でご確認下さい。

こども園に新しくスタッフが仲間入りしました。笑顔のステキな先生たちです。どうぞ宜しくお願いします♪

９月の行事予定

1 日（火）	２学期始園日（1 号午前保育）
8 日（火）	役員会
9 日（水）	幼小連携公開保育
10 日（木）	誕生会（2 才以上児 9 月生）
19 日（土）	相撲大会・弁当日

１０月の行事予定

3 日（土）	父母会主催ゴミ拾い
6 日（火）	いもほり
9 日（金）	運動会予行練習･弁当日
17 日（土）	第 63 回運動会
18 日（日）	運動会予備日
19 日（月）	振替休日（1 号）
20 日（火）	給食試食会（くじら）
21 日（水）	秋の遠足（3 才以上児）
22 日（木）	給食試食会（あい）
23 日（金）	〃　（いるか）
28 日（水）	秋の遠足（0・1・2 才児）

２学期、いよいよスタート！

例年、8月に親子で楽しんでいる夕涼み会ですが、今年度はコロナ感染症を考慮し役員さんと話し合いの上、8月3日に園内で“お祭りごっこ”として行いました。いつもの夕涼み会と流れが違ったり、コロナ禍の密をどうクリアするか、どうすれば子ども一人一人がお祭り気分を味わえるか、あれもしたい、これもしたらもっと楽しめるかも…。など欲が収まらない職員たちでした。

お祭りごっこ当日は、お祭り気分を味わえるように甚平、浴衣、アクセサリーと衣装だけでも嬉しそうな子どもたち。園庭には子どもたちが作った夏の飾りが風に揺れて一層お祭り気分を盛り上げます。「あっ！これ○○の～」「○○のもあったよ。ここ！！」と自分やお友だちの作品を見つけて喜んでいました。準備をしていく中で、この飾りをどこに飾るかが問題となりました。室内と室外の2択のみですが、どっちに飾るかで子どものモチベーションも変わってくるものです。保育の世界ではこれらの仕事を物的な『環境構成（設定）』と呼んでいます。絵本1冊にしても、タオル掛けの位置にしても、子どもが関わる全てのモノやヒトは“環境”と捉え、それらを子どもが動きやすいように、やってみたい！と自らから楽しめるように様々な環境を構成していくのです。

私たちの地域では感染事例が無いとは言え、長くコロナ感染の可能性の中で、様々に生活制限も続いています。今後のお相撲大会や運動会など、いつものカタチではできないかもしれません。今できることを、今だから無理なくできそうなことを職員みんなで知恵を出し、保護者の皆様にも協力いただきながら”環境”を整えていければと思っています。

ニュースではコロナ感染への誹謗･中傷もよく耳にします。私たち大人が子どもたちの"環境"のひとつであることを忘れず、お互いを思いやる大人でありたいと同時に、その思いやりの環（わ）がつながることを願っています。　伊豆元

「人としての価値」　～愚直に生きる～

コロナ渦に翻弄されつつ迎えた夏休み期間でしたが、今のところ種子島では感染者も無く、無事に二学期を迎えられそうで感謝です。こんなに出張も帰省も台風の接近も無い、静かでひたすら暑い八月は小生も初めてのことでした。

世界的なシェフの一人に三國清三（みくにきよみ）という方がおられます。三國シェフは、貧しかった子どもの頃、初めて食べたハンバーグの味が忘れられず、料理人になりたいと決心し、中学卒業後、夜間の調理師学校を経て、「札幌グランドホテル」で修業をはじめました。そこでの最初の仕事は、「従業員食堂の飯炊きの手伝い」です。彼は、「どぶ掃除でも何でもする」という思いで仕事に取り組み、飯炊きが終わったあとも、宴会場の皿洗いを一手に引き受けました。社員寮にはほとんど帰らず、厨房に残って、毎晩、料理の練習をしたそうです。そして、十八歳のとき、料理長補佐としてステーキワゴンを任されるまでに成長しました。子どもの頃の「初心」を果たしたのです。その後、札幌を離れて上京し、「帝国ホテル」で働くことになります。しかし、帝国ホテルでは、「洗い場のアルバイト」のひとりにすぎませんでした。二年経っても正社員にはなれず、北海道に戻ることも考えましたが、「たとえ戻ることになっても、日本一のホテルの洗い場を担当した者として、ホテルの鍋を全部、自分の手でピカピカに磨いてから去る」と誓い、「ホテルにある十八のレストランの洗い場をすべて手伝わせてくれ、お金はいらない」と直訴。それから毎晩、自分の仕事が終わってから、すべてのレストランを回って、鍋を磨いたそうです。そうして三ヵ月ほど経った頃、「料理人の神様」と称されていた帝国ホテルの村上信夫料理長から、思いもよらない提案を受けることになります。料理長は、「帝国ホテルの社長から『六百名の料理人の中で、いちばん腕のいい者を、ジュネーブの日本大使館のコック長に推薦してくれ』と言われ、君を推薦した」と言って、社員でもなく、一度も料理を披露していない「一介のアルバイト」を大役に抜擢したのです。三國シェフは、どのような仕事でも、自分の信念に従い、腐らず、自分のやるべき仕事を愚直に続けました。村上料理長は、そんな彼の「ひたむきさ」と、愚直に努力を続ける「心の強さ」に気づいていたのです。野心や、評価や、私欲に心を動かされず、ただひたすらやり続けた結果として大きな道が開けたのですね。「**わたしの目には、あなたは高価で尊い**」と、いつもありのままに愛してくださる方の存在を信じて歩める人生は幸いだと思います。

二学期の行事は、状況によっては中止や短縮を余儀なくされるかも知れません。職員一同で知恵を絞り、出来る限りの環境を整えて経験を担保していきたいと願っております。まだまだ残暑が厳しい毎日ですが、そろそろ夏の疲れも出てくる頃です。早寝･早起き･朝ごはん･朝ウンチで、親子共々元気でいきましょう。行事の多い二学期も引き続きご協力をお願い致します。

学園長

子ども理解と支援（園内研修）

子ども集団の中で、子どもが自分のやりたい遊びを見つけ、友だちと楽しく遊ぶ力を獲得するために、その基礎となる育てたい力について、中種子養護学校の伊瀬知先生から学ぶ機会を与えられました。

①愛着の形成
②人に対する基本的信頼関係の獲得
③基本的な生活習慣の確立
④十分な自己発揮と他者の受容による自己肯定感
⑤道徳性や社会性の芽生えとなる遊びを通じた子ども同士の体験活動の充実

幼児期は、体と頭を使って遊ぶ事によって、体の機能が発達し他者との関係が育まれていきます。『面白そう。やってみよう』と心が掻き立てられ動き出す。その時集団の中では、自分とは違う他者の存在を感じ、葛藤しながら園生活を送っています。その中で物の取り合いや、順番等が我慢できずにトラブルになることも多々ありますが、その生の葛藤を大事にしたいと思っています。集団という社会の中でルールがあることを知り、どうしたらそのルールを納得し自分のこととして受け入れ、折り合いをつけていけるか。また、体と心で受け入れることができるか等を、子どもに関わる私たち大人が一緒に考え、望ましい行動につなげていけるよう、日々の保育を振り返り、支援の仕方を学んでいきたいと思いました。

例年この時期に参加している様々な研修会も、コロナ渦でほとんど中止になってしまい残念でしたが、様々なテーマで講師をお呼びしての園内研修や自主研修を実施することができました。今後も創意工夫を重ね自己研鑽に励んで参ります。保護者の皆様にはお迎え等のご協力をいただきありがとうございました。